

令和7年度

文京区版ひきこもり総合対策について



令和8年1月23日

生活福祉課 自立支援担当



文京区版ひきこもり総合対策



1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

- ・文京区ひきこもり支援センター 相談に関わる実績報告
- ・ひきこもり等自立支援事業（STEP事業）報告
- ・令和6年度調査の結果を受けての取組
- ・広域連携事業について
- ・研修、講演会、茶話会について

2. 令和8年度ひきこもり支援の取り組みについて

- (1) ひきこもり支援の広報事業の充実
- (2) その他

3. 令和8年度文京区ひきこもり支援活動計画

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

文京区ひきこもり支援センター 相談に関わる実績報告



相談実績

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 11月末
延べ相談(件)		164	271	253	212
新規相談(件)		43	56	47	25
相談者内訳	本人	11%	20%	23%	23%
	家族	64%	59%	58%	70%
	その他	17%	21%	20%	6%

相談手法別実績

項目	件数(延べ数)
電話相談	92
メール相談	0
SNS等オンラインによる相談(メール除く)	0
来所相談	92
訪問による相談	11
その他	17
計	212

新規相談_初回相談の相談者

項目	最初の相談者(人数)						小計
	当事者	親		兄弟姉妹	その他、不明等		
		うち、50歳以上	うち、80歳以上				
電話相談	3	1	4	1	3	2	12
来所相談	5	1	3	0	0	3	11
訪問相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1	0	2
計	8	2	8	1	4	5	25

年代別、性別の実相談人数

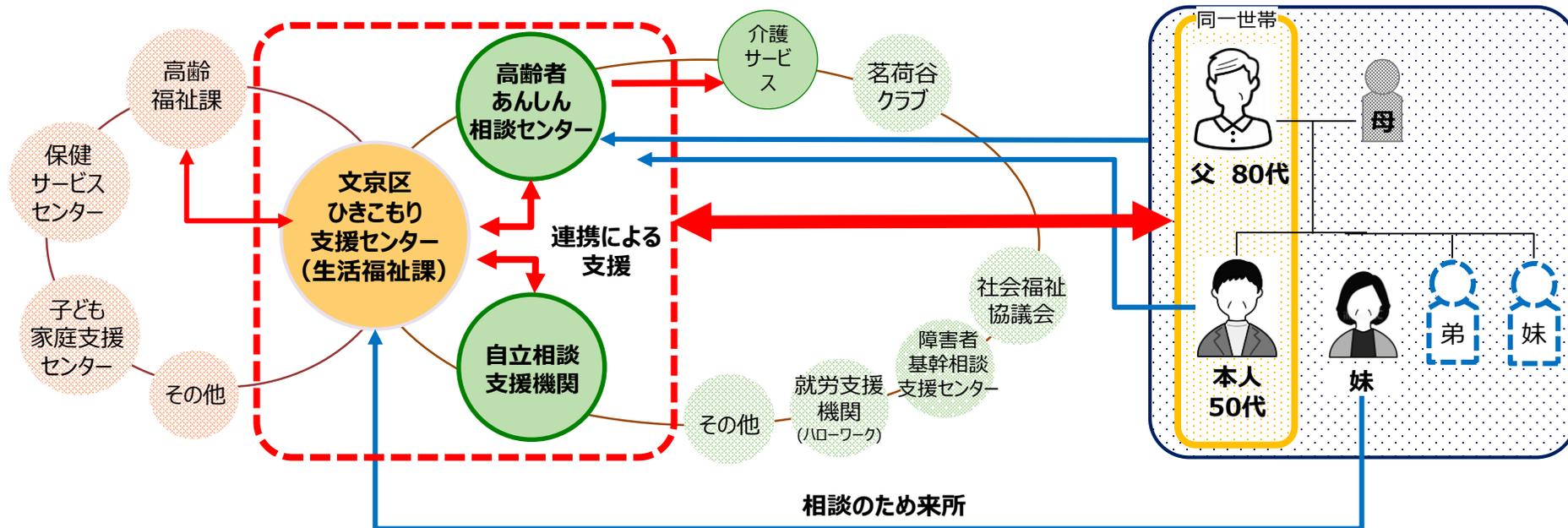
項目	性別			実人数
	男	女	その他	
10代	0	2	0	2
20代	2	0	0	2
30代	0	3	0	3
40代	2	4	0	6
50代以上	6	16	0	22
年齢不明	1	11	0	12
計	11	36	0	47

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

文京区ひきこもり支援センター報告（事例）



具体的な支援例①（8050ケース）



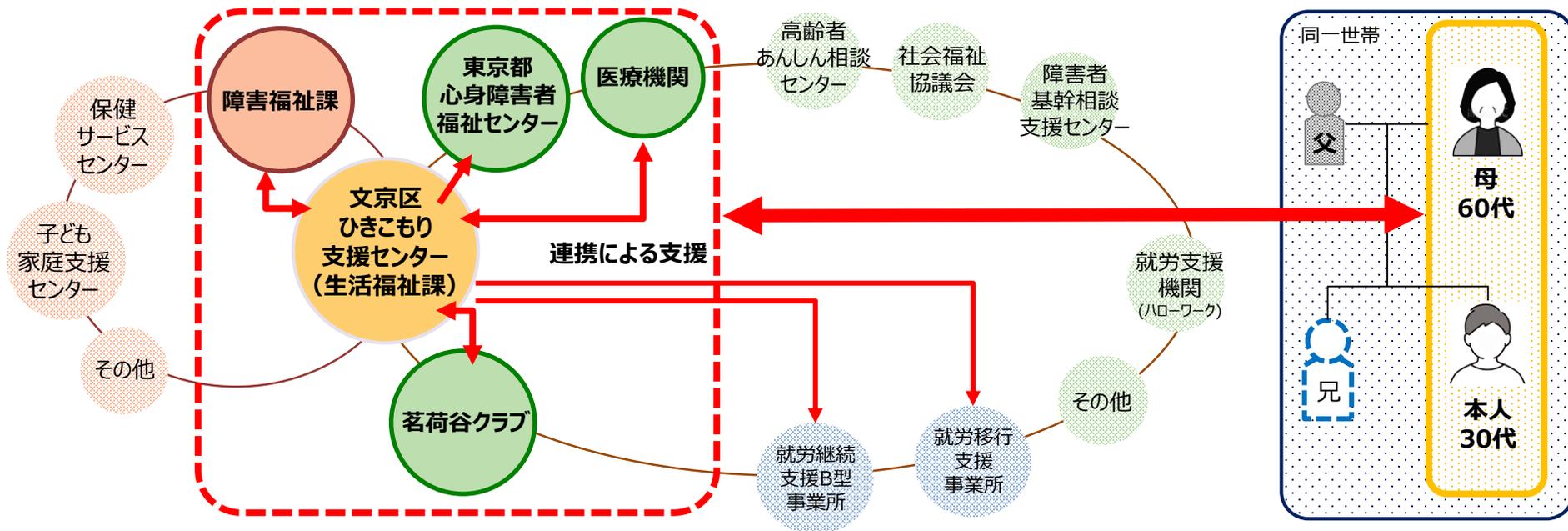
関係機関	ひきこもり支援センター、高齢者あんしん相談センター、自立相談支援担当
相談支援の経過 (本人登場前)	令和6年の3月に妹が相談のため来所。主訴は、親亡き後の本人の生活についての不安。現在は本人の収入はなく、父の収入で生活をしているが、資産状態は不明だが、家計の収支は赤字が予想される。 妹から世帯の状況について相談が1年以上継続したところで、本人登場。令和7年7月に父が救急搬送されたことをきっかけに、本人も今後の生活に危機感を抱き、妹同伴で来所相談開始。
本人への支援状況	家計状態を確認し、今後の生活設計を行う。本人の希望に合わせた就労支援、糖尿病や眼科等の通院、精神科への通院継続支援。手帳取得も検討。世帯の収入の状況に合わせた転居支援も今後検討。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

文京区ひきこもり支援センター報告（事例）



具体的な支援例②（障害サービス導入）



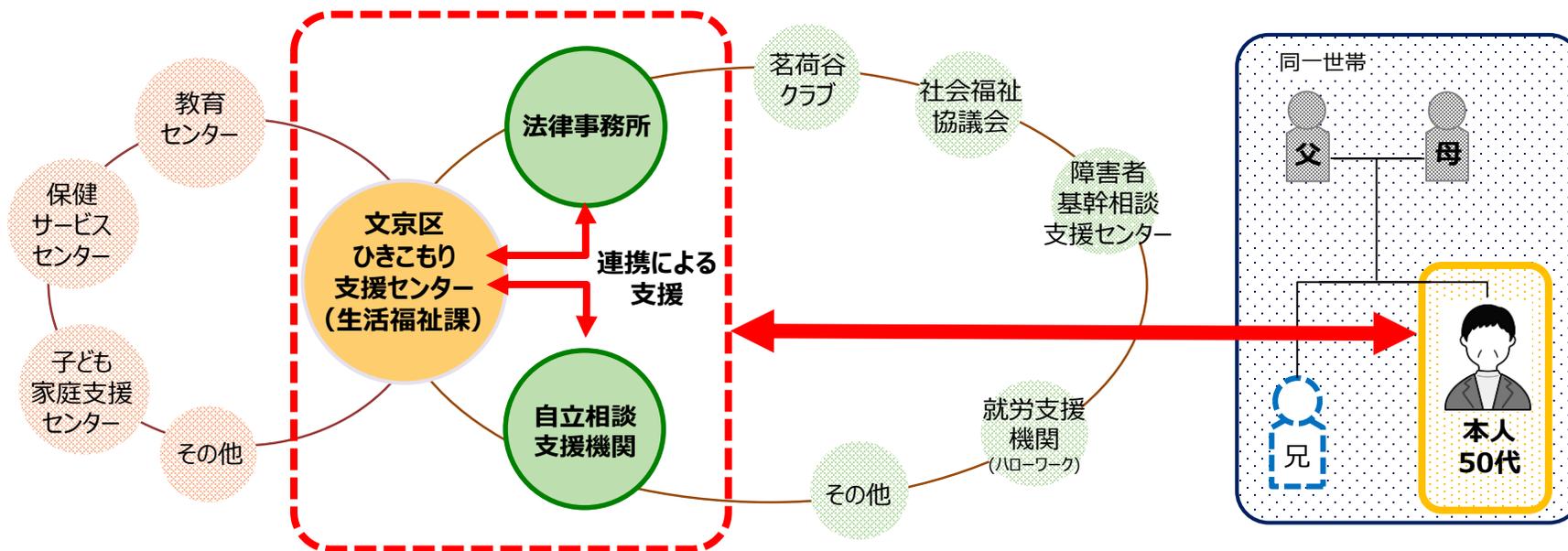
関係機関	ひきこもり支援センター、茗荷谷クラブ、障害福祉課、就労支援事業所、心身障害者福祉センター
相談までの状況	就学時検診で特別支援学級を勧められるものの、母が受容できず小学校から高校まで普通学級で過ごしていた。大学は8年通学も退学。大学在学中は父の営む居酒屋でアルバイトをしていた。父他界後は家にひきこもる生活を送っていた。令和4年10月に母がシビックセンターに別件の用事で来庁。その後、本人も面談に登場。
本人への支援状況	月1回程度の面談を3年継続。面談の設定が外出の機会の創出にもなり、茗荷谷クラブの居場所（カフェレオン）の利用も開始。令和7年4月、兄が面談に参加され、愛の手帳の取得を本人と母へ提案。母も納得し、8月に取得。現在は就労に向けて事業所見学を行っている。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

文京区ひきこもり支援センター報告（事例）



具体的な支援例③（ゴミ屋敷）



関係機関	ひきこもり支援センター、自立相談支援機関、法律事務所
相談までの状況	父の他界後、母の介護と父が残したアパートの大家業を行っていた。母が他界した後はうつ状態になり、兄とも連絡が取れず、行方不明状態となった。その間借地代が払われず、裁判を起こされ、年度末には退去の可能性が出た。裁判官からひきこもり支援を受けるように言われ、令和7年4月、本人と弁護士で来所。
支援開始後の展開	初回面談の時点で本人は就労を希望。裁判の結果を待ちながら、就職活動と転居の準備を進めて行った。8月から週4日、1日2時間のアパート清掃の仕事に従事。退去はR8年2月末と決まった為、R8年1月の引っ越しを目指して転居支援中。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

ひきこもり等自立支援事業（STEP事業）報告



相談実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 10月末
延べ相談(件)	818	998	984	578
新規相談(件)	31	29	22	24

相談手法別実績（10月末現在）

項目	件数（延べ数）
電話相談	77
メール相談	0
SNS等オンラインによる相談(メール除く)	0
来所相談	487
訪問による相談	12
ファイナンシャルプランナー相談	2
計	578

新規相談_初回相談の相談者（10月末現在）

項目	最初の相談者（人数）						小計
	当事者	親		兄弟姉妹	そのほか、 不明等		
		うち、50歳 以上	うち、80歳 以上				
電話相談	0	0	1	0	0	0	1
メール相談	0	0	0	0	0	0	0
SNS等オンラインによる相談	0	0	0	0	0	0	0
来所相談	10	2	10	0	0	1	21
ファイナンシャルプラン	1	0	1	0	0	0	2
計	11	2	12	0	0	1	24

年代別、性別の実相談人数（10月末現在）

項目	性別			実人数
	男	女	その他	
10代	5	6	0	11
20代	24	12	0	36
30代	21	6	0	27
40代	11	4	0	15
50代以上	4	4	0	8
年齢不明	0	0	0	0
計	65	32	0	97

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

令和6年度調査の結果を受けての取組



- 1) 効果的な情報発信
- 2) 包括的な相談支援体制
- 3) 重層的支援体制整備事業



講演会チラシの活用

従来：FAX申込

10月：YouTube配信のお知らせ

2月：相談予約受付フォーム開始

FAX 参加申込書

申込方法：FAXの場合は、以下の申込内容を記入の上、この用紙を送信してください。

申込先：茗荷谷クラブ FAX：03（3947）0766

申込内容（希望するものに☑をしてください。複数選択可。）

茶話会 [5月17日(土)] 茗荷谷クラブ
 茶話会 [7月26日(土)] FAX：03（3947）0766

氏名	
住所	
電話番号	
備考	

動画配信のお知らせ

講演会の内容は YouTube で配信します

配信期間 10月31日(金)~11月14日(金)

※配信期間は変更となる場合がございます。

ステップ1 下記QRコードを読み取る

ステップ2 YouTubeのURLが表示されます

ステップ3 URLをクリックすると講演会のYouTubeが表示されます

講演会・個別相談会 茶話会会場

文京区民センター(本郷4-15-14)

お気軽にご参加下さい。

文京区ひきこもり支援センター相談の受付について

『相談予約』の受付フォームを開始しました。

相談のお申込やお問合せを受けています。お申込・お問合せ内容を確認し、3営業日以内に日程調整のご連絡をさせていただきます。

▼申込フォーム

https://logoform.jp/form/6KSu/1206936

文京区民センター(本郷4-15-14)

お気軽にご参加下さい。

ホームページ改編



インデックスの変更
 相談支援、イベント、その他に分類。必要な情報を探しやすいよう見出し文言を同時に変更。

長文の説明を削減
 画像とリンク設定により、ひとめでわかりやすい構成に変更。



イベントを一括掲載
 バラバラに掲載していたイベントを主催ごとにグループを分け探しやすく構成



調査結果自由意見より
 支援についての情報発信が乏しいので広報をもっと頑張ってください。
 文京区のホームページからすぐに情報が得られるようにして欲しいです。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

令和6年度調査の結果を受けての取組



- 1) 効果的な情報発信
- 2) **包括的な相談支援体制**
- 3) 重層的支援体制整備事業



ひきこもり地域共生サポート事業

・地域のひきこもり支援に関心のある人が、安心してアウトリーチ支援に継続的に関わることができる仕組みを作り、ひきこもり本人と関わる人を広げていくことで、地域共生社会の実現を目的として実施する。



文京区民のひきこもり支援への関心について・・・令和6年度調査結果より (n=918)

ひきこもり支援への関心度については、「関心はあり、知識としては知っておきたい」が50.8%、「関心があり、力になりたい」が14.8%と高い結果となっている。

【令和7年度 アウトリーチサポーター養成研修の状況】

■ 募集から参加者確定まで

- ・ 7/10 区報、HPで告知。
- ・ 7/20 定員9名に達し申込〆切
- ・ その後2名申込あり、キャンセル待ち。

■ 既登録サポーター フォローアップ研修

- 第1回：ひきこもり支援ハンドブックを一市民として読み解く～ひきこもりをどう捉えるか～
9名参加（登録年度内訳はR4：1名、R5：3名、R6：5名）
- 第2回：市民性とは？～サポーターとして「隣にいる」を考える～ 1/31(土)予定

■ 研修参加状況

- ・ プレ座談会：7名
- ・ 1回目：9名（全員）
- ・ 2回目：7名
- ・ 3回目：6名

■ R7年度新規登録者数：2名（1月15日現在）

※登録については、3回の研修すべてを履修した上で登録の依頼を行うため、2月のフォローアップ研修終了以降に登録される方もいる

【各支援関係機関へのお願い】

～アウトリーチサポーターを導入するにあたって～

- ・ 安心して人（サポーター）と関わる経験を通して、孤立せず地域生活を送る一助になりそうな方を対象にしています。
- ・ 当事者の方にメインで関わる支援機関があることを前提としています。
- ・ 福祉サービスとしてではなく、サポーターとともに地域に「安心」「つながり」をつくることを目的として、外出同行や訪問などを行っています。

令和7年度
ひきこもりアウトリーチサポーター
養成研修のお知らせ

「新たな出会い」「関心の醸成」

研修はひきこもり支援に関心のある方（15歳～64歳）を対象に、定員9名（先着順）で実施します。

文京区に住む方も参加はせず、安心して研修に参加していただくために「ひきこもりの方々とつながるボランティア」を募集します。

※1回、2回、3回、4回、5回、6回、7回、8回、9回の研修に参加していただく必要があります。

※2回、3回は必ず参加していただく必要があります。

※4回は必ず参加していただく必要があります。

※5回は必ず参加していただく必要があります。

※6回は必ず参加していただく必要があります。

※7回は必ず参加していただく必要があります。

※8回は必ず参加していただく必要があります。

※9回は必ず参加していただく必要があります。

お知らせ

ひきこもりアウトリーチサポーター養成研修

9月6日、10月11日、12月6日(全て土曜、全3回)午後2時～4時

客持谷クラブ(小日向4-5-8)

家庭訪問や外出への同伴等を通して、ひきこもりの方と関わる方を養成

前田大悟氏(ひきこもり当事者グループ ひき板代表)ほか

全回参加可能でひきこもりの方と関わることに関心があり、アウトリーチ活動に意欲がある方

8人(申込順)

申込：電話又は区に記入欄①～④・⑤と⑥所属(あれば)を明記し、茗荷谷クラブ 03-3941-1613 club.myoga@gmail.comへ

7月26日(日) 茗荷谷2日(土)午後2時～4時に事前座談会あり(任意参加)

※活動依頼の有無は、アウトリーチへの希望状況による

*アウトリーチ：様々なサービスや情報を、必要とする方のところへ、出向いて届けます

申込欄にも

区報

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

令和6年度調査の結果を受けての取組



M: 当事者のメイン相談支援機関
S: 支援関係機関

関係機関	M:生活あんしん拠点 S:計画相談、社協、医療 等	M:生活あんしん拠点 S:生活福祉課、B型事業所 等	M:基幹相談支援C S:茗荷谷クラブ、特支学校 等	M:相談支援事業所 S:地域生活支援C、訪問介護事業所
サポーター	Aさん 職業:会社員	Bさん 職業:元会社員	Cさん 職業:福祉職	Dさん 職業:福祉職

ひきこもり当事者	令和7年 前期	Mさん: 60代半ば・二世帯 ひきこもりがちだが人と話すことは好き。サポーターの訪問を楽しみにしている様子。一人で買い物や散髪へ出かけられるようになった。	Nさん: 50代前半・単身世帯 30年以上ひきこもり。生活スキルが乏しく不安が強かった。サポーター同行で買い物等経験を重ね、一人でできることが増えてきた。	Oさん: 10代後半・三世帯 サポーターが訪問、母と3人で雑談。波はあるものの少しずつ会話ができるように。	令和7年度 新規	Rさん 30代前半・単身世帯
	令和7年 後期	サポーター訪問前に準備をしてもてなしたり、一緒に食事をしながら世間話を楽しんだりしている。本人からサポーターを誘って一緒に買い物をする事もあった。	B型作業所への週2回の通所は、訪問看護がサポート。通所回数を増やすにあたり、サポーターが追加で月1回同行。不安や確認行為が減り、一人でできることも増えている。	卒業後に通う予定のB型事業所での実習を楽しんでいる。サポーター訪問は夏は一旦お休みされたが10月以降再開。促されるとサポーターに色々な質問をしてくれ、会話が進む様子も。		近隣に住む母が通院同行をしていたが、母の付き添いが難しくなってきた。福祉サービスの代替ではなく、人とのつながりづくりのきっかけとして通院同行を開始。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

令和6年度調査の結果を受けての取組



- 1) 効果的な情報発信
- 2) 包括的な相談支援体制
- 3) **重層的支援体制整備事業**



重層的支援体制

令和7年度 事例概要 No.5

事例⑤ 治療中断、居住支援、若者支援

事例の概要 (当初相談時)

- ・20代女性。発達障害の治療中断。
- ・父名義のマンションに独居。父から退去命令が出ており、現在裁判控訴中。
- ・継続的な就労経験はなし。
- ・金銭面は母からの支援（月6万円）
- ・母と本人がカプセル関係になっている。
- ・母が主の相談者になってしまい、本人の意向や困り感が明確に不明。本人と会ったことのある支援者がいない。

重層に挙げた理由

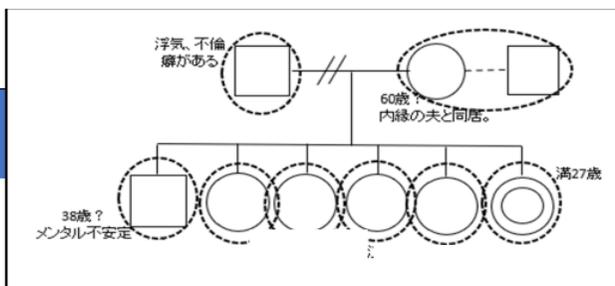
事例提供：生活福祉課
複合的な課題を抱えているため。

支援会議の成果

- ・他課の支援を得ることで事例分析が深まり、支援のスタンスや方向性を考えることができた。
- ・母を介して、本人に情報を共有することで、本人からの相談につなげることができた。
- ・家族の中には、本人が相談できる人もおり、家族の協力も得ることができていることが支援の中で判明。一方で、キーパーソンの母は本人との関係に悩みもあり。
- ・家族がおかれている状況の疑問点を整理することができた。

課題

- ・対象者本人を相談の場に登場させるための設定づくり



【重層会議後の状況】

- ・本人から自立支援担当宛に電話が入る。相談開始。転居支援希望。
- ・母も相談に同席。
- ・本人との相談が一度途切れる。(この間、体調面が悪化。入院もしていた。母には保健師への相談も提案。母が保健師へ相談)
- ・本人からの再度の相談希望が入り、再開。転居支援中。
- ・母への支援は茗荷谷クラブが継続的に実施。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

令和6年度調査（自由意見）の結果を受けての取組



講演会は自宅から出られない人の為にも動画配信してほしいです。地域の人に会いたくないから行かない人も助かると思います。

オンライン講演会の取組



「文京区公式チャンネル」にて
10/18開催講演会のアーカイブ動画を配信。
(10/31~11/14) アクセス数 274



電話、来所がとても苦勞します。メール対応、ホームページのお問い合わせ欄、チャットGPT等SNSでの対応もして貰えませんか？直接対面が苦手や怖い、馴れるのに時間が掛かる等有るからです。

相談入口のハードルを下げる

「LoGoフォーム」にて相談の予約を開始

- 折り返し電話もしくはメールにて日程調整
- 匿名での相談受付
- HP、チラシ裏面



ご近所にひきこもりの方がいると言うお宅にはどのような言葉をかければ良いのかわからないです。

- 何らかの生きづらさを抱えておられる方への、各人が持っている無自覚的な評価やモノサシに気づくことが、ひきこもりの方の自信を回復させる。周囲が気づくことができる講座を。

令和8年度 区民向け講習会を開催予定

[内容：案]

- ひきこもりの基本的な知識
- 文京区の支援体制について
- 文京区ひきこもり支援センターについて
- STEP事業について
- 区民の方にご協力頂きたいこと



例えば、文京区のシビックコンサートの無料招待などがあれば区役所に足が向くきっかけにもなるし、そこでまた相談に繋がると思う。

文京アカデミーへの招待イベント

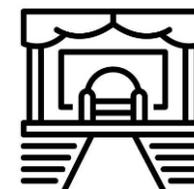
公益財団法人 文京アカデミー主催

茗荷谷クラブ利用者を文京シビックセンターイベントに招待

対象：茗荷谷クラブ利用者および家族（文京区民限定）

回数：2回（計50名）

内容：吹奏楽、伝統文化



1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

広域連携事業について



3区連携事業（文京区・台東区・千代田区）

近隣区で開催する講演会・個別相談会・講座について相互利用

講演会

【文京区開催】

開催月	講演内容	講師	参加人数	うち台東・千代田
6月	“タフラブ 絆を手放す生き方”	信田 さよ子	118人	4人
10月	“ひきこもりの家族はなぜ苦悩するのか” ～福祉社会学の観点から～	関水 徹平	22人	1人
2月	“対話をするとは”	森川 すいめい	開催予定	

【台東区開催】

開催月	講演内容	講師	参加人数	うち文京
5月	“10年間のひきこもりからの再出発”	山添 博之	29人	9人
11月	“学校が苦手だった子どもたちのご家族へ” ～子どもの権利の視点を交えて～	谷川 由起子	7人	1人
未定				

<文京区講演会 参加者の声>

- ・ 目からウロコの話がたくさんありました。大変勉強になりました。ありがとうございました。これからもたくさんの企画お願いいたします。
- ・ とても突き刺さる講演でした。あっという間でした。誰かのためではなく、自分のためになる話でした。一つでも今の生活に取り入れられれば、と思っています。

【千代田区開催】

開催月	講演内容	講師	参加人数	うち文京
12月	“ひきこもる子の回復の道のり” ～精神科医療の視点から～	益田 裕介	開催予定	
11月	ひきこもりダイアログ講座	齋藤環	6人	5人
3月			開催予定	

※ひきこもりダイアログ講座については申込数

個別相談会

【文京区開催】

開催月	参加人数	うち台東・千代田
6月	6組	0組
10月	3組	1組
2月	開催予定	

【台東区、千代田区開催】

参加人数	うち文京
14組	1組

5月・11月分

<令和7年度の傾向>

- ・ 台東区・千代田区の講演会において、安定的に文京区民の参加があり、特に、千代田区開催のひきこもりダイアログ講座における文京区民の参加が多くなっている。
- ・ 文京区開催講演会、茶話会において3区連携事業の周知を継続。

※12月現在時点 未実施分については含まず

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

広域連携事業について TOKYO広域連携事業



ひきこもりUX女子会（清瀬市、国立市、武蔵野市、東大和市、豊島区、調布社協、文京区、日野市、杉並区、昭島市、新宿区、国分寺市）

【ひきこもりUX女子会年間実績】

開催日	開催地	参加人数 (女子会のみ)
5月20日	国立市	28人
6月18日	豊島区	50人
7月6日	武蔵野市	26人
7月17日	東大和市	15人
8月8日	文京区	44人
9月25日	日野市	29人
10月23日	国分寺市	58人
11月16日	昭島市	21人
12月18日	新宿区	開催予定
1月23日	杉並区	開催予定

ひきこもりUX女子会 文京区開催 8月8日
アンケート回答者40名

■参加者の感想等（女子会）

- ・わかる！とうなずきたいことがたくさんあった。こういう話は友達とはできないので、同世代の人と話すことができたのがすごく良かった。
- ・文京区が来やすいのでまた開催して欲しい。
- ・女子会で同じような想いを抱えている方々とお話することが心の支えです。今後も新しい自治体との協力が進んでいくようお願いの限りです。
- ・支援や居場所の情報誌が置かれたテーブルができたのがうれしかったです。今後も置いてほしいです。
- ・以前は体験談だけで早退していましたが、開始から最後までいられるようになって少しづつの変化ですが嬉しく感じています。

■令和7年度の変更点

- ・新たに4自治体が加盟（杉並区、昭島市、新宿区、国分寺市）
- ・加盟自治体が開催するひきこもり支援関連イベント（講演会や家族会など）を相互にHP等で周知を行うことで、広く情報を届ける体制を構築
- ・ママ会を廃止し、女子会に一本化



1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

研修について HDSK（ひきこもり支援関係機関連携強化検討会）



- 開催 : 2回（富坂・本富士、駒込・大塚）
- 参加関係機関 : 高齢福祉課、高齢者あんしん相談センター、生活あんしん拠点、社会福祉協議会、茗荷谷クラブ、生活福祉課

ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～を活用した事例検討会

事例24：50代男性、
両親の介護のため退職。自身のひきこもり状態で相談来所、定期的な相談を継続。介護サービスや家庭内の話を拒否。介護負担が強くなり自死念慮の可能性が高まる。相談予約時に来所せず、緊急で訪問したところ自死状態で発見される。その後、関係者全員で振り返りを実施。その際、責めることはせず自分の気持ちを吐露する場所とする。

(テーマ1) 相談の主訴である「介護疲れ」の悩みに対して、あなたやあなたの支援機関はどんなことができますか？

- ◆ 本人へ
 - ・介護の負担となっている内容を聞き取り、負担感について一緒に考える。介護サービスを拒否している気持ちを聞く。
 - ・電話、手紙、訪問などで、本人に関心があることを示し、労いの言葉をかける。
 - ・居場所、サロンの紹介。
 - ・介護サービスの情報提供。介護サービスを勧める。
- ◆ 家族へ
 - ・家族へアプローチし、介護サービス利用についての両親の思いを聞く。
 - ・経済面の聞き取り目的で、ご両親の判断能力の度合いによっては地域福祉権利擁護事業など後見制度利用の提案をするために自宅訪問。
- ◆ 他機関連携
 - ・法的相談窓口、生活福祉課、民生委員、訪問診療・訪問介護などへのつなぎ

(テーマ2) このような事例のケースで、緊急対応を行ったことはありますか？どのような対応を行いましたか？

- ◆ 支援機関での対応
 - ・介護サービス等拒否し、1人で妻を介護していた本人が亡くなり、妻を緊急ショートステイにつないだ。
 - ・警察や家族に連絡し、支援者としても自宅に訪問。
- ◆ 他機関との対応
 - ・独居で連絡のつかなくなった方を、保健サービスセンターが中心となって対応してくれた。
 - ・茗荷谷クラブに訪問してもらい、警察対応となった後、本人は入院した。
 - ・生活保護ケースワーカーと一緒に訪問したが、亡くなっていた。

(テーマ3) この事例のようなケースで、支援者が1人で悩みを抱え込まないようにするにはどうしたらよいでしょうか？

- ◆ カンファレンス
 - ・定期的に関係者が集まりケースを共有・相談できるカンファレンスを開催する。その際、批判や責める場所にしない。
 - ・関係者で振り返る機会を設け、対応や気持ちを整理する。
- ◆ 日頃からの対応
 - ・日頃からお互いに相談しあえる関係性作りをする。些細なことでも相談してよいという安心感、辛い時に弱音をこぼせる関係性を作る
 - ・緊急性のリスクを1人ではなく、チームや精神科医などにも相談できる体制を作る。

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

研修について



ひきこもり支援従事者養成研修（事例検討会）9月、11月、1月（予定）

対象 福祉、教育、保健分野等で業務に従事している支援従事者

講師 近藤直司氏（精神科医。大正大学人間学部臨床心理学科名誉教授）

■ 9月開催 参加人数：20名

〔目的〕 ひきこもり支援に関わる職員のうち支援経験年数の少ない職員に対し、アセスメントシートの作成をとおして、アセスメントスキルの向上や支援者としての資質向上を図る。

〔内容〕 アセスメントシートの書き方、アセスメントに関する講義、修正など個人ワーク、グループ内発表

■ 11月開催 参加人数：21名

〔目的〕 ひきこもり支援に関わる職員が、スーパーバイズを含めた事例検討をとおして、ケースや支援過程についての理解を深め、今後の支援に役立つ視点を持ち、支援者としての資質向上を図る。

〔内容〕 事例発表・事例に対する質疑応答、グループワーク・発表、講師からのスーパーバイズ等

■ 1月開催（予定）

〔目的〕 ひきこもり支援に関わる職員のうち支援の中心になる職員に対し、グループワークをとおしてケースや支援過程についての理解を深め、今後の支援に役立つ視点を持ち、ケース検討会議の運営の方法や支援者としての資質向上を図る。

ひきこもりサポーター養成研修 7月

対象 民生委員・児童委員

講師 井利由利氏（公益社団法人 青少年健康センター 茗荷谷クラブ理事）

■ 7月開催 参加人数：14名

〔目的〕 文京区内の民生委員・児童委員に対し、ひきこもりについての基礎的な知識の習得に加え、地域内で把握しているひきこもり当事者や世帯の支援に関わる課題の共有や検討を行うこと

〔内容〕 ひきこもりの基本的な知識、基本的な話の聞き方のコツやアウトリーチのやり方、STEP事業について、ひきこもり世帯の状況把握と関わり方について

1. 令和7年度ひきこもり支援の取組について

講演会、茶話会について



【1】講演会・個別相談会 開催

目的 : ひきこもりの方の家族や困っている方を対象とし、多方面からひきこもりに対する理解や対応などの理解を促進する。
ひきこもり支援センターの周知。

開催回数 : 年3回 (1回は今後実施予定)

参加人数 : 140名 (6月・10月、2回分の講演会参加者の合計)

	講演内容	講師	参加人数	備考
6月	“タフラブ 絆を手放す生き方”	日本公認心理師協会会長、原宿カウンセリングセンター顧問 信田 さよ子 氏 氏	118	—
10月	“ひきこもりの家族はなぜ苦悩するの か”～福祉社会学の観点から～	明治学院大学社会学部社会福祉学科准教授 関水 徹平 氏	22	YouTube配信あり 再生回数:274回
2月	“対話をするとは”	精神科医 森川 すいめい 氏	未開催	—

<個別相談 : 臨床心理士、ファイナンシャルプランナー相談を継続>

開催回数 : 年3回 臨床心理士 6月:6組、10月:3組、2月:未開催)

ファイナンシャルプランナー 10月:2組、2月:未開催)

【2】茶話会 (家族交流会) 開催

目的 : 同じ状況にある家族同士の情報交換、当事者へのアプローチ
等の習得を目的とした交流会、参加者同士の情報交換を通
し、家族の望ましい接し方・サポートの手法を学ぶ

内容 : 話題提供の講演会、交流会

開催回数 : 年6回 (2回は今後実施予定)

参加人数 : 20名 (5月・7月・9月・11月、4回分の合計)



2. 令和8年度ひきこもり支援の取組について

ひきこもり支援の広報の充実



現在の講演会チラシの改定



- 発行年3回
- 両面を表面となるよう構成を変更、講演会終了後も情報ツールとして使える内容に改定

対象

メインは『家族』
+
家族から情報を提供されるひきこもり本人

目的

相談・居場所に対する安心感、
危険ではないというメッセージ

内容

家族が理解する+本人へ伝えやすい 情報の提供

- STEP事業の活動紹介
- 活動の様子、感想（楽しさ）の発信
- 講演会に興味はあるが参加が難しい方へメリットのある情報（前回講演会の感想や様子など）
- 親子の会話のきっかけになる話題の提供

広報デザイン

- 詳しい情報への入口、
ひきこもり支援周知の拡大
- 誰にでも伝わるやさしい表現
 - ロゴ、キャラクター、ベースデザインは変更せず、ひきこもり支援の情報提供に関わる定着を図る

活用

つながりにくい人につながるためのツール

- 定期刊行物として、ひきこもり支援の内容を紹介するツールとして活用
- 文京区内イベントを活用した置き配の拡充

— その他メディア(案)

ホームページ
講演会終了報告

参加しなかった方向けに
感想や様子と次回へのお誘い

SNS
投稿回数を増加

Xの回数を増加

YouTube
簡易案内

30秒以内のショート動画

マルチビジョン
講演会案内

区報を手にとらない方
へのメッセージ

(区民ひろば)

掲示板
区設掲示板

ポスターの掲示

3. 令和8年度文京区ひきこもり支援活動計画



【STEP事業】

日時	内容	対象
6月27日（土）	講演会・個別相談会	区民・家族等
10月17日（土）		区民・家族等
2月20日（土）		区民・家族等
5月9日（土）	茶話会	家族等
7月25日（土）		家族等
9月5日（土）		家族等
11月7日（土）		家族等
1月9日（土）		家族等
3月13日（土）		家族等

【UX女子会】

※ 令和8年度より
3自治体が加入予定

開催予定	内容	自治体
5月	UX女子会 つながる待合室	国立市
6月		日野市
7月11日		武蔵野市
7月下旬または8月初旬		東大和市
8月下旬		杉並区
9月10日		文京区
10月8日		国分寺市
10月下旬		※新規
11月		昭島市
12月		豊島区
1月中旬		※新規
2月前半		新宿区
2月後半		※新規

【研 修】

日時	内容	対象
7月16日（木）	HDSK会 富坂・本富士地区	高齢者相談係、拠点、社協、包括職員
7月22日（水）	ひきこもりサポーター養成研修	区民向け
9月8日（火）	ひきこもり支援従事者研修（近藤先生S V・第1回）	高齢者相談係、拠点、社協、包括職員
9月14日（月）	HDSK会 駒込・大塚地区	高齢者相談係、拠点、社協、包括職員
11月19日（木）	ひきこもり支援従事者研修（近藤先生S V・第2回）	高齢者相談係、拠点、社協、包括職員

【会 議】

日時	内容
6月23日（火）	ひきこもり等自立支援会議（旧子会）
8月	重層的支援体制整備事業 連絡会
12月	ひきこもり等自立支援会議（旧子会）
1月	重層的支援体制整備事業 連絡会